



1. 点 鐘

2. 合 唱 「我等の生業」

3. お客様の紹介

- ・第7グループガバナー クボタヒデオ 久保田英男様 (鎌倉RC)
- ・第7グループガバナー補佐 コヤマテルヒコ 小山輝彦様 (伊勢原平成RC)
- ・第7グループグループ幹事 フルヤタカヒロ 古屋貴弘様 (伊勢原平成RC)
- ・原いづみ様 ハラ (アーカス湘南RC)

4. 会長の時間

- ご存じのように、コロナの問題で一時期「緊急事態宣言」が出されました。それで例会もほとんど開かれませんでした。「緊急事態宣言」が解除され久しぶりに例会が開催できています。
- 今日、駐車場で古谷さんと一緒になった際にステイホームの時にすることがないのでほとんど読書三昧だったという話になりました。その時どんな本を読むのかということで昔聞いた話を紹介したいと思います。小学校のPTAの会で母親が先生に「うちの子は遊び惚けてばかりなので本でも読ませようと思っているが、どんな本を読ませたらいいでしょうか？」と伺ったところ先生の答えはある詩を朗読したか紙に書いたメモを渡したかは定かではありませんが、その詩を昔から覚えているので紹介したいと思います。
- 雨の降る日や風邪ひいて好きな遊びができぬ時、少年よ書物を読みなさい
書物を読めばその時すぐに出てくる目の前に、いく山越えていく千人
まだ来たことのない人たちやまた珍しい動物があなたと遊び話しか
かわいいハト鳴き時計でも電気仕掛けの機関車も壊れてしまうことがある
万年筆やカメラなどどんなに大事に閉まっても無くしてしまうことがある
書物を一旦読んだならあなたの胸の奥深くじっとそのまま残ってる
書物のくれる財産は決して減らない無くならない
- これが先生の答えでした。確か北原白秋だったと思います。これを昔聞いてこう
いう時期に読書に勤しんでいるというお話を伺いふと思い出しました。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

- ①米山月間卓話依頼のお願い
- ②会員増強・会員維持委員会卓話者派遣等のご案内

【受付文書】

- ①ブックスタート事業への協賛について (お願い)
- ②第73回秦野たばこ祭の開催中止について (お知らせ)

【例会変更】

【本日の配布物】

- ・第1695回例会次第
- ・第1693回例会週報
- ・8/6定例理事会議事録 ⇒ 議事録に沿って報告

★新会員への歓迎として

「日本ロータリー100周年記念ピン」授与
矢端雅子さん



6. 記念日

- ・会社創業記念日
- ・入会記念日
- ・御結婚記念日
- ・御誕生記念日 (会 員)
(配偶者)

7. スマイル報告

- 第7グループ ガバナー 久保田英男様(鎌倉 RC)「コロナ禍は急速に私たちの生活を変え、コミュニケーションはITなどの新しい技術で何とか凌げましたが、やはり人と人は触れ合うことが大切だと痛感したことも事実です。こうしてお会いできる幸せに感謝しましょう。本日はよろしくお願い致します。」
- ガバナー補佐 小山輝彦様(伊勢原平成 RC)、グループ幹事 古屋貴弘様(〃)
「本日は公式に久保田アバナーの相伴で参りました。よろしくお願い致します。」
- アーカス湘南 RC 原いづみ様「久保田ガバナー、ようこそ秦野へ！10月のアーカス公式訪問に向けて勉強させていただきます。秦野名水 RC の皆様、本日はよろしくお願い致します。」
- 神崎達朗さん「本日は久保田ガバナーの公式訪問です。心してお話を聞いて下さい。」
- 大屋富茂さん「久保田ガバナー、本日はよろしくご指導の程お願い致します。」
- 鈴木和夫さん「久保田ガバナー、小山 AG、古屋 G 幹事 ようこそおいで下さいました。本日はよろしくお願い致します。」
- 古谷スミ子さん「久保田ガバナーのご来秦を歓迎し、ご指導よろしくお願い致します。」
- 山谷洋子さん「第 2780 地区ガバナー久保田様、ガバナー補佐 小山輝彦様、グループ幹事 古屋貴弘様、アーカス湘南 原いづみ様 ようこそおいで下さいました。本日はよろしくお願い致します。」
- 原郁夫さん「久保田ガバナー、本日はよろしくお願い致します。」
- 桐山晃忠さん「久保田ガバナー、小山ガバナー補佐、古屋グループ幹事、猛暑の中、遠い秦野名水 RC によく来て下さいました。いろいろと教を戴きたいと思えます。」
- 諸星道治さん「地区ガバナー久保田様、グループガバナー補佐小山様、グループ幹事古屋様 今日たくさんのご指導お願い致します。」
- 北村まり子さん「久保田ガバナー、本日は暑い中ご苦労様です。」
- 東島礼美さん「ガバナー、ガバナー補佐、グループ幹事、原いづみ様 暑い中ようこそお越し下さいました。どうぞよろしくお願い致します。」
- 山本裕宣さん「ようこそ久保田ガバナー、本日はよろしくお願い致します。」
- 原恵美子さん「久保田ガバナー、ようこそ秦野名水 RC にお越し下さいました。本日はよろしくお願い致します。」

合計 42,000 円

8. 出席報告

- 会員数 16 名、○出席義務 16 名、○出席数 13 名、○出席率 81.25%

9. 皆出席表彰



○左より

大屋富茂さん

山谷洋子さん

鈴木和夫さん

原恵美子さん

古谷スミ子さん

原郁夫さん

授与者：桐山晃忠さん

10. 地区委員会報告 ⇒ 無し

11. 委員会及びその他の報告 ⇒ 無し

12. ガバナー卓話

○小山ガバナー補佐より

ガバナーご紹介という事ですが、先々週にガバナー補佐訪問という事でこちらに伺った際に、ガバナーのご紹介はたっぷりさせて頂きましたので、皆さんよくご存じと思います。よって詳しいご紹介は省かせて頂きます。

ガバナーと直接会話できる機会は1回/年しかありませんので是非お話をさせて頂きたいと思います。



○こんにちは！

2020～2021年度ガバナーを務めさせて頂きます鎌倉 RC の久保田でございます。どうぞ今日はよろしくお願い致します。

○皆出席の皆様おめでとうございますというか、ありがとうございますというか原さんには32年間、入会以来本当に頭が下がる思いです。私は入会当時はサボってばかりでして後悔先に立たずで、クラブの皆出席はもうすでに冒頭から途絶えている人間ですので、今回表彰のみなさんは本当に素晴らしいことです。そのほかの皆様も是非先輩方について出席をして頂ければと思います。



○これはどこの公式訪問に行ってもお話しすることですが、先程の小山ガバナー補佐が話されたようになかなか皆さんと直接お話ししたり、触れ合うことがありません。その中で特に今年はコロナの影響で、オンラインの形で直接会うことができないまま、本来なら直接会長とお会いし、そして地区協議会で地区リーダーの皆さんと何かしらの形でお話ししたりと情報交換の機会があったり、もしかして国際大会のホノルルのビーチでビールを飲みながらお話しすることもあったかもしれませんが、残念ながらそのようなこともなく今日までできてしまいました。

ですので今年の地区大会も、日数を1日に絞りしかも来て頂く方を限定せざるを得ない方向で追い込まれています。

よってこうして皆さんとお会いできる機会は本当に限られてしまってる、残念な事だと私は思っています。それだけに短い時間ですが一緒に過ごしてこの秦野名水 RC の未来、そしてこれから皆さんの活躍をどのようにしていくか一緒に考えていきたい、その上では私はガバナーという立場ではなく名水 RC の一会員に入れて頂き同じ目線で物を見ていきたいなあと思っています。

○私の話しにたっぷり時間を取って頂いてますが、むしろ皆さんと会話のキャッチボールをしてお話しをする方に時間を割ければと思っていますので、是非この後

の懇談会で皆さんと意見交換・情報交換ができればと思っています。

- 本日の出席も3名の方が欠席で100%ではないようですが是非3名の方にこんなことがあったよと話して頂けたら有難いと思っています。こちらのRCは例会をこのような形をとって下さっていますが、コロナの影響で教室スタイルで皆が演台の方を向いて座っているところが多いです。名水RCではこのようにコの字型に座っているので私の顔だけでなく、お互いの顔が見れて例会ができて羨ましいと思います。



私は触れ合うこと、人と人の顔を見て話しをすることが凄く大事なことでと思っていますし、ロータリーというのはまず会員同士の親睦というか信頼関係が生まれて初めて地域に・社会に貢献できると思っています。

このコロナの時ステイホームということで辛い3ヶ月でした。まだまだこの状況は続きますが、これ以上こういう時間を作らないためにもうつらない・うつさないという事が私たちの大事な役目になってきます。

- 先程も話しましたが、今年の国際大会はホノルルで多くの方に登録を頂きました。そして何故ハワイで会わなければいけないのかと言われるかもしれませんが、私も皆さんと一緒に海外で僅かな時間でも一緒に過ごす凄く距離が縮まります。原さんご夫妻やいづみさんとは国際大会で一緒して楽しい時間を過ごし、私に対する誤解も解けたと思います。こちらのクラブの皆さんとは親しくさせて頂いて、それこそ財団の地区補助金のことでは古谷さんと、また神崎さんとは地区副幹事をされていた時によくして頂いて、本当に親しみのあるクラブです。今日は皆さんと一緒に1日を過ごせることを楽しみにしています。



- ガバナーとしての役割はいくつかあります。RIの情報を伝えること、地区の方針を伝えることなどいろいろあります。本来ならここにプロジェクターを置いていろいろ説明をしなければいけないのかもしれませんが、私はこのステイホームの間いろいろ考えて、基本的な準備ができなかったことで今までと同じことをやっても伝わらないだろうと思い、そういうものを使わずに66回の公式訪問すべて違う卓話をしようと、そのクラブ毎の卓話をしようと決めました。その中でも話した方がよいと思う事のみお話しさせていただきます。

- まず一つとして、クラブをどのように未来を描くか？

私は今年度ガバナーとしてやらなければならない事のひとつとして“会員増強”目標を作らなければならないのですが、既にご存知かと思いますが地区の会員数を2,500人以上と目標を掲げています。でも1クラブあたり何人・何%増やして欲しいとは一切話しておりません。これはコロナが始まる前から考えていたことです。

このクラブにとってどれだけの人数が必要かではなく、このクラブにはどのような人がいてどういうことをやろうとしていて、この地元の中でどういう位置づけにいるのか知りたいというところから入っていき、このクラブはこういう風になっていくといいよねと、この先に初めてニーズあるかなと思います。

この16人が結束を強くする1年間にして頂けると有難いと思っています。増強の話は逆に言うと数字ではなくて、増強の“強”の方だと思います。強めるという方向にシフトしていくことがこのクラブにとって一番大事な事だと思います。そしてこの強める部分ですが、横の繋がりで皆さんが仲良くして同じ方向を見て、同じ目標に向かって歩き始めるという事が凄く大事ですが、それと同時に大きくなって頂きたい、懐を深くしていきたいとこの事も是非考えていって頂き

たい。

- このコロナの影響でいろいろな親睦事業、奉仕事業ができない状況の中でどのようにやっていくか、どんなことができるかといったことを考えていったときこのクラブでは16人なので4人ずつのグループを作り懇談会や会食をシャッフルしてやれば1年間で少なくとも1回は〇〇さんと話しをした・会食をしたということになるのではないかと。少ない人数という事を逆ににメリットととして取って頂いたらうれしいです。

何事もポジティブに捉えることが大事です。この16人というチームで是非強い絆を作って頂き、そして懐を深くすればこのコロナが明けて新しい方が入ってきた時もグッと受け止めることができると、また大きくなるという事はどういうことかという、やはり小さく纏まり過ぎると大きいことはできません。大きいこととは、地域に対して何が出来るか・国際社会に対して何が出来るかということです。

私はこのクラブが過去にタイに消防車を送ったり、バス旅行を企画したり、今年度は子供たちにテーブルマナーを体験してもらおうとしている、このようなことをするとき更に大きくする準備期間、種まきの期間だと思っています。よって“会員増強”よりも“クラブ増強”と取って頂きたい。

- あと寄付の話もしなければならぬのですが、財団200\$・米山2万お願いします。ただ一番お願いしたいのは金額ではなく、何にそのお金を使っているかを充分理解して頂きたい。

米山奨学生を見て下さい。この子たちがどんな気持ちで国を離れて日本で勉強して、そしてそれを将来どういう風に活かそうとしているか、そういう気持ちを持っている人たちに奨学金を出しています。その奨学金は私たちが汗をかいて稼いだお金です。それを生きたものとして将来投資しているという意識を持って是非その事業に関心を持ち管理し監視して頂きたいと思います。何よりもお金を出すという事は恵むのではなく一緒に育てていくということを理解して頂きたいと思います。

- この育むという言葉ですが、1月にガバナーの研修会をアメリカで受けた時に初めて今年度RI会長のホルガー・クナークさんとお会いしていろいろ話しを5日間聞いたわけですが、その中で個人的に心に残った言葉が「グローロータリー」という言葉で、RIが使っていますが今の育むという言葉です。ロータリーは成長し続けなければならない、私たちも成長し続けなければならない、ロータリーが育つということは私たちが育つこと。私たちが育つということは世の中が成長し大きく豊かになっていくという事を繰り返し繰り返しお話しされました。その言葉の通りだと思います。

- もう一つの言葉は「ストーリーを語ろう」です。自身のこと、あなたのクラブのストーリー、あなたの街のストーリーそういったものを語れるようにしよう、そしてその物語を作って進めていこうという話しをされました。

これも大事な事で、このクラブは今年33年という歴史のレーンに立っています。この33年間でいろいろなものを積み重ねてきて今があります。それが秦野名水RCの伝統であり歴史です。その伝統を守っていくことは凄く大事な事、ただそこで間違えないでほしいのは、歴史を積んでくるときには常に新しいことをされて来たと思います。50年目を迎える時を考えた時にこの33年目というのは50年目を迎える人たちにとって歴史であり、伝統のひとつになります。先程の皆出席の表彰もありましたが、その中でも歴史をずーっと見て来られたと同時にこれからは新しいものを作っていき、新しいことにチャレンジしていくという立場におられるわけで、是非チャレンジ精神というものを50年・60年そして100年を迎える時に大事な事で、伝統を守るだけでなく新しい伝統を作っていないと長く続かないと思います。ですから皆さんには是非伝統を作って頂きたい。

- そんな中、最近ロータリーは変わってきたと言われますが、私は変わってきたの

ではなく、先程の言葉を借りると「育ってきた」と思います。そもそもロータリーのベースになる哲学は変わっていないと思っています。日本に100年前ロータリーができた時、実はスペイン風邪が大流行、今のコロナと同じようにパンデミックの状況になっていて日本では1919～1920年に何万人が亡くなったそうです。こんな時に東京クラブができたわけで、100年たって今コロナで何か縁があるのか・・・この中でロータリーができること、こんな時に生まれて何をしていたのかを知りそれ以上のことをしなければいけないのではと言われました。何故か私たちの歴史はそういうところで噛み合ってしまう。

1905年にシカゴでポールハリスがロータリークラブを作った時、この時に今私たちが知っているロータリークラブとはるかに違ったかもしれない、しかしその根源はまっとうな仕事がしたいという人たちがシカゴの街に集まり、それが世界中に広まり120万人という大きな組織になって、外に対して多くの奉仕活動もしています。今私たちがそういう環境の中にいるのかもしれませんが。やはり私たち一人一人が生業を全うし、感じられる恩恵を社会に恩返ししていくそういうものが今のロータリーで哲学は変わっていないと思います。システム的にはずいぶん変わったと思います。しかし今私たちがやるべきことここでどういう風にしていくかは一切変わっていないと思います。

- ロータリークラブは積極的にやればやるほど自分に返ってきます。自分が大きくなった、自分が勉強できたと、本当にやればやるほど感謝しか残りません。積極的にいろいろなことを是非やってみてください。地区の役職・クラブの役職をできる範囲でよいのでやってみてください。できない理由はすぐ見つかりますがやろうと思ったこと・どうしたら出来るかと考えるところから始まります。皆さんがガバナーというものをどのように見ておられるか分かりませんが、私は決して皆さんを指導する立場とは思っていません。一緒に底辺で皆さんの気持ちを一つでも分かるように努力するのが今の私に与えられた役務だと思っています。先輩方からみるとガバナー公式訪問じゃないと思われるかもしれませんがこれが久保田の公式訪問のやり方です。

今日はありがとうございました。

13. 点 鐘

《ガバナーとの懇談会》



久保田ガバナー



司会：小山ガバナー補佐

○新会員 矢端雅子さん

4月から入会させて頂きました。よろしくお願ひ致します。まだ場の雰囲気と流れが全く分からず戸惑っております。たまたま j:com 湘南ということで私どもも久保田ガバナーの鎌倉 RC にお世話になっております。

今回ボランティア活動でライオンズクラブやロータリークラブがあり、その中でも「入りなさい」「やめておきなさい」があるのですが、前任の山田さんが入会していたこともあり、またお仕事柄で非常に優秀な方たちとお会いできるということでドキドキして例会に来ております。

Q：まだまだご質問できる状況ではありませんが、このコロナの影響下でボランティア活動のあり方が変わっていくのでは・・・と思っています。

久保田ガバナーの今後の構想、コロナを意識したロータリーどんなものを作っていきたいかを参考までに伺いたい。

A：j:com さんにはいつもお世話になっております。また地区大会でもこの所仕切って頂くことが多いです。今年度の地区大会も j:com 湘南さんにお手伝いをお願いしていますのでよろしくお願い致します。

これは大変難しい問題で、先月地区の国際奉仕委員会がありまして、その中でそもそも国境を越えることができない、渡航することが難しい中、国際奉仕をどうやっていったらよいのだろうと話題になりました。同じように社会奉仕もいろいろ難しい問題が山積みになっているとの事。

その中で、青少年奉仕で今の若い子たちはテクノロジー等にあまり抵抗なく入り込めるので、例えば青少年交換で毎月帰国報告会をやっていますが今年はどうしようかと話していたところ、青少年交換の卒業生で組織しているローテックスの子供たちからは是非帰国報告会は単純に紙で出すのではなく、ちゃんと集まって皆にしゃべらせてあげて欲しい。今回は人数を絞ってもいいので、ビデオを撮らせて欲しい、準備や編集・配布は全部自分たちでやりますということでした。

その時ふと思ったことは、こちらからこうすればいいだろう、ああすればいいだろうと、ロータリーはどうしても野球大会・サッカー大会に優勝カップを出せば喜ぶだろうとこちら側から発想することが多かったと思いますが、逆に受益者の側から欲することを聞いてそれをどう実現するかお手伝いをするというサーキュレイトする奉仕の仕方、また若い人たちにどんどん発想を出してもらい、実際にやってもらうやり方、こういうことがこれからのロータリーのできる部分として支えていくということはロータリーとしてできると思います。やりたいという人たちとパートナーシップを組んでやっていく、そういう形の奉仕活動が必要となってくると思います。これはロータリーに特化した話しかもしれませんが、私はロータリー側から発信するのではなく、発信されたことをどうサポートしていくか、新しいパートナー的

役割、これもロータリーの中の一つの在り方として生き残っていく、またやれる奉仕の一つかなとヒントをもらった次第です。

○社会奉仕委員会 原^憲委員長

補助金はロータリアンのために支出することを禁じているが、例えば高校生を乗せるバスにロータリアンが同乗することは許容されるのか？その他の程度が許容されるのか線引きがあれば伺いたい。

A：マニュアル・線引きについては財団ハンドブックの中に書かれている。例えば寄付や寄贈は禁止されている等。今回のバスに同乗することは必然なことであると思います。迎えに行きピックアップし終わった後は送らなければならない。バスをチャーターして同乗していくという事は常識的に考えて特に問題はないと思います。

多感な時期の子供たちにとってもよい経験だと思います。



○その他 神崎会長



Q：数年前、例会数を減らしてよいという規定審議会の変更があったが、RI の考え方を知りたい。コロナ禍で当クラブは2回/月の例会にしたが、スケジュールを作ると思いの外、間隔が空く為心配になることもある。私たち古い人は毎週やり、皆と顔を合わせて親睦を図ることがよいと思うのですが、RI が決めたことですから分かる範囲でお願いします。

A：2016年の審議会でそうなったと思います。神崎さんが言われたように2回/月の例会でいいよとい

う表現です。これはよく言われますが、2019年にメーキャップは1年以内で良い。また職業分類は制限がなくなったということです。

もう少し説明すると、今まで4回/月、44回/年例会をすると縛られていましたが緩やかに減ってきています。これは新しいクラブを対象とするところが非常に多く、縛りを緩やかにし柔軟性をもってクラブを維持して欲しいという発想からできたルールです。よって元々のルールのままで活動できるクラブに関しては一切変更する必要はないということです。

新しいクラブを作るときは、最低でも2回/月は例会を開きなさいということ。また、職業分類では一業種1人、50人以上でしたら5人までと同業種はいいですよとなっていました。例えば、日本の温泉街だとみんな旅館の経営者だったりするわけで、そしたらいくつものクラブをたくさん作らないと皆さんロータリーに入れない。そうするとロータリークラブが乱立してしまう。それでは良い奉仕活動ができないのではという発想から、職業分類を撤退しました。完全になくなったわけではなく、RI 会長は職業分類を使って会員増強を行いなさいとおっしゃっています。街の中の特性を活かして制限を持たなくていいということになります。

メーキャップについても1年間で行えばいいとなっていますが、クラブの中の判断に任せることになっています。よってクラブの細則に従来通り前後2週間と規定を作れば、ここのクラブの出席補填のメーキャップは前後2週間ということで全く問題なし。

○古谷副会長

私も長く名水 RC にいるので、正直お休みがあると明日は行くのかどうか不安になります。ただどちらが正しいとは言いかねますが、木曜日に皆さんの顔を拝見し、お話ししていろいろな情報や新しい刺激を受けたりできるのは捨て難いと思います。

A：会社や自身の為にもノーマルなルーティンとして従来通りの毎週開催の例会でも良いのかなと思います。



○原_都会場監督



例会は毎週あるものだど教育され、ロータリー生活を送ってきました。毎週顔を合わせるのが楽しみとは思っています。

A：確かに反対しているクラブもありますが、今コロナの影響でトータル的にこの東アジア圏の話しを聞くと毎週やらないと気持ち悪いよねというのが総論となっています。

私自身もできるなら毎週やられたらよろしいのではという意見の持ち主なので是非こちらも毎週やれるようにして頂けたらよろしいかと思えます。

Q：今コロナコロナと大変な時期ですが、私はワクチンさえできれば大丈夫と樂觀しています。問題はコロナの影響でロータリーが変わることです。

A：おっしゃる通りで、コロナでロータリーが変わってしまったら本末転倒です。先程会長・幹事にお話ししましたが、健康を心配されている方に無理に出席を促すことはやめて頂きたい。ご本人だけでなく家族・会社の従業員も心配されていることに含まれているということ。その辺はおおらかに捉えて頂き、理解して頂きたいと思っています。

Q：地区の分担金が減額になった。RIの分担金はそのままなのは何故か？

A：情報がないので、いずれ回答がきたらきちんと説明します。憶測でお話しするのは避けたいと思います。

地区分担金については、青少年関係の事業を中止したこと、その他の会合が減ってくる、また地区の委員会が毎月ありますが80%の委員会がペーパーレスで電子媒体に移行しています。そういうところで経費削減し、通信費も省くという方向に行っています。ただその中でガバナー月信を電子媒体で配布しますという風に理解されている方もおられると思いますが、これらは従来通り配布します。ただ紙がもったいないとか環境のことを考えられていて少しでも紙を減らしたいという方、紙でもらってもすぐに無くしてしまう、そういう方には電子媒体で送付し、少しでも紙が減り経費削減になれば良い。

○職業奉仕委員会 山本委員長

大型建設工事現場や防災地下神殿の見学を計画していますが、発注者が東京都であり発注者の許可を取らないといけません。コロナが少しでも収束してくれば実行できると思いますが、現時点では難しい。

A：3密にならないようにし、対策を練って実現できるようにして下さい。



○国際奉仕委員会 東島委員長



当初のところ文化交流ということで、日本文化を体験してもらえる企画として、過去にクラブで植えた紅葉を鑑賞し文化財を観て頂く。お抹茶や和菓子を召し上がって頂くなど。

A：ふと思いついたのですが、YouTubeとか使って英語の解説で供養とかを日本の文化として発信していくというのは結構国際奉仕になると思います。

お寺の方でも、日本の中高生も「お盆」や「お彼岸」が何なのか分からない方が多いと思う。

日本の中高生で海外に行きたいという子が日本の文化を何も知らないで行くとおまえの国は文化がないのか？と捉えられてしまいます。若い子には早いうちに日本の文化をきっちり教えた方が良い。

○青少年奉仕委員会 北村委員長

前期、ポケトークを7台寄付した。今回も7台では足りないという事で5台の寄付をすることにしました。毎年行っていた英語スピーチコンテストが中止になった。できるだけことはしたいと思っています。また秦野っ子アワードの子を表彰したいとの事なので援助したいと思っています。ポケトークの利用は海外から来ている子供に使用。



○山谷会計



予算書を作成する際に、会長・幹事と会員は何人になるのか、いくら使えるのかと大変でした。

ただ地区分担金が半額になったことがよかったです。これは、1年で終わりなのか、コロナの影響が来年も続いたらどうなるのか心配です。

A：今年度も始まってまだ2ヵ月で、次年度の田島エレクトがどう事業計画をされるかによりけりですが、次年度のことは私は何も言えませんが、今年度減額してクラブに貢献ができたならやって良かったです。

次年度にはそういう声がある事は伝えます。

○会員増強・会員維持委員会 桐山委員長

会員増強というよりもクラブ増強も確かに一理あります。現在16名、やはり20名は欲しいです。入会案内書を活用する。

A：全く人を増やさなくていいという事ではないので、言葉足らずで恐縮です。ただ新規の場合20名以上という基準になっているので、20名に近づけることは必要なのかなと思っています。その中でただ増やすだけでクラブの絆が薄まるようなことを考えるよりは、着実に長くいてくれる方を一人一人入会して頂き、決して16名でいいという意味ではありませんので。各委員会が支障なく活動するためにはやはり30名位を目指すのが一般的だと思います。



○大屋幹事



今、伊勢原・秦野のクラブの状況を見ますと伊勢原 RC がリモート例会が始まりました。平成クラブ始めからリモート例会です。秦野 RC も例会数を減らしております。中 RC も会費を無料にして活動を抑えようということになっています。

そういった中で名水 RC は 16 名という素晴らしいメンバーに恵まれて、こういう形で例会ができるという事は本当に素晴らしい！

先程懇談会でも話しがありましたが、この例会では本当の素晴らしい例会、そして回数もそれほど減らしては

りません。来週は増強委員長によるフォーラムです。この中で如何にして人を増やすかを一生懸命検討していくのでよろしくお願いします。

素晴らしい・優しい久保田ガバナーの話しによって心温まったと思います。

ロータリーはこうして顔を合わせて、いろいろ情報交換してやるのが、本当のロータリーの基本ではなかろうかと思っています。

どうぞこれからも宜しくお願い致しますとともに

久保田ガバナーには長時間に亘りありがとうございました。



久保田ガバナー・小山ガバナー補佐 ありがとうございました。